

御浜町立小・中学校適正配置基本計画(素案)の パブリックコメント(意見募集)《集計結果》

令和7年2月 御浜町教育委員会

* 意見を提出できる方

- ・町内に住所を有する方
- ・町内に通勤、通学されている方（通学されている方の保護者）
- ・町内に住所を有していなくても、今後も含めて御浜町に関係のある方

* 意見の募集期間

- ・令和6年12月末～令和7年1月31日

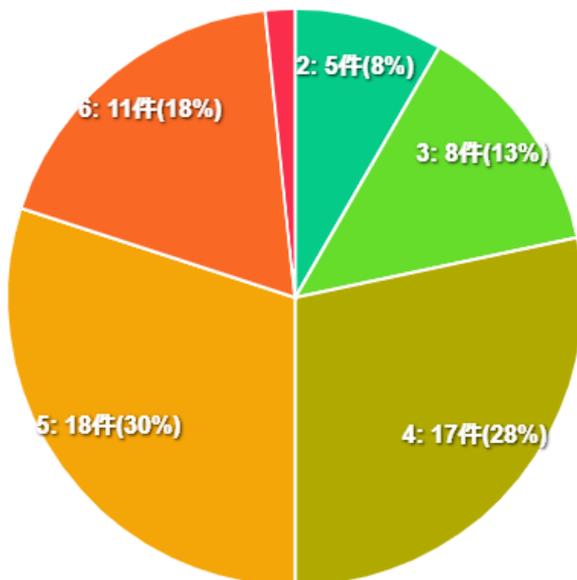
* 意見の提出方法

- ・広報みはま（R7年1月号）のQRコードを読み取り、記入フォームに入力して提出
- ・御浜町教育委員会と御浜町中央公民館にて、意見記入用紙に記入して提出

* 意見の取り扱いについて

- ・窓口及び電話での口頭による意見は受付できません。
- ・単に賛否の結論を示しただけの意見や、計画等の内容と直接関係ないと判断した意見は受付できません。
- ・提出された意見は「広報みはま」や町HPで公表します。ただし、意見提出者の名前や住所等は公表しません。
- ・意見に不適切な表現が含まれていると判断した場合には、その全部又は一部を公表しないこととします。また、提出された意見について、類似の意見があった場合は、まとめて公表する場合があります。
- ・提出された個々の意見に対し、提出者個人に直接回答はしません。
- ・提出された意見は本計画の策定に向けて検討を行っている御浜町総合教育会議に提出します。

①意見の提出数（人数）と年齢層



- 1. 10代以下
- 2. 20代
- 3. 30代
- 4. 40代
- 5. 50代
- 6. 60代
- 7. 70代以上

年齢	件数
10代以下	0
20代	5
30代	8
40代	17
50代	18
60代	11
70代以上	1
計	60

・記入フォーム：59件 ・意見記入用紙：1件

②提出された意見

児童生徒数の減少、校舎の老朽化、南海トラフ地震の到来などを背景に、子ども一人ひとりの個性やニーズに応じた学校選択を可能にできる計画であると思います。子どもたちだけでなく保護者の方にとっても安心安全な学校づくりとなりますよう、よろしくお願いします。

小中学校での学びは、人格を形成していく過程で、一人一人に大きな影響があると思っています。卒業しても、校歌が流れれば、自然に口ずさみ、幼いころの記憶がよみがえります。ただ、人によっては、つらい記憶となっている方もあると思います。この度、将来の子どもの学びについて、避けられない人口減少の中、大切に計画を進めていただいていることに感謝し、だれもが大切な学びの場となるような学校となることを要望します。

小中一体型の校舎により、長期間にわたり児童生徒との関わりを持つことができることや中1ギャップの問題も緩和されると思います。スクールバスの保護者負担なしで進めてもらえることについて、ぜひともお願いします。児童生徒の安全のため、添乗員による見守りが確実にされるようお願いしたいと思っています。

基本計画（案）新校舎の建設、各学年2クラス以上、小中一貫教育、どれも子どもたちのために一日も早く実現していただきたい、最優先事項だと考えました。

職員としての立場というより、保護者としての立場の意見なのですが、自分の子どもの時のことも考えると保育所から中学校までメンバーがかわらないのはあまりよくないなと思いました。その部分で小中が一緒となると、やはり小と中のあいだで少し環境だけでも変わる、小と中の（同じ場所にあっても）きちんとした区別をつけていくほうがいいなとは思っています。

比較的大きな規模の学校を建築する際は、設計前の段階から現場の教職員の意見も十分聞いてほしいと思います。デザイン重視の設計会社等のプランのままでは機能性や維持管理に支障が出る可能性があります。建築予定の学校においては小中併設の良さももちろんあると思いますが、併設になることでのデメリットも考慮の上、校地・校舎のレイアウトなども十分検討してください。なにより数年後の学校のことも重要だと思いますが、現在通学している子どもたちや教職員にとっての安心安全な環境づくりを置き去りにすることなく、適切な改修なども随時していただきたいと考えます。

○子どもたちの健康や避難所になることを想定して、体育館にも冷暖房設備をお願いいたします。

○どのような建物にするか、現場の声が反映されるようお願いいたします。

基本計画の内容に賛成します。防災上の課題や、老朽化の課題は、こども達の命を守る為にも、早急に解決が必要な事だと思うので、開校時期が前倒しできるよう、スムーズな計画実現を望みます。

新校舎の移転場所によっては通学路の整備も必要ではないかと思いました。

素案に賛成ですが、新校舎の建設スケジュールがもう少し早まると、防災面の課題を抱える学校に通学している児童の安全が確保できるのではないかと思います。様々な準備があるため、難しいとは思いますが。

B案は校区の真ん中にあり通学しやすいとも思いますがC案の星山地区もB案の市木地区からもそう遠くないので阿田和駅やピネ 紀南病院も近く御浜町の中心地にあり生活基盤が一番整っているためB案よりもC案が適していると思います。

御浜町の小中学校の統合は、防災や校舎の老朽化の面でも仕方がないことだと思います。新校舎の統合にあたって、いろいろな課題がなるべく出ないようにスムーズに移行できるよう希望いたします。

新校舎建設と現存する尾呂志学園の規模の異なる2校あることにより、選択の余地があることはやはり子どもにとって良いと感じる。また、新校舎設立場所に関しても、B市木地区にすることで御浜の中での中心部分になり通学時間がだいたい平等に保たれるのではないかと思う。スクールバスも保護者の方の負担がないように考えてくださっていてありがたいと感じた。

・昨今の子どもの減少を見ていると、学校の統廃合は致し方ないと思う。校舎の老朽化も進み、防災の観点からも新校舎の建設は必要である。設置場所については、防災や児童の登下校のことなど安全面を一番に考えていただきたい。

・新校舎建設にあたって莫大な予算が必要になると思うが、統合までの間、現在の学校に通う児童生徒に不利益のないようにしていただきたい。（例えば、備品の購入を控えるとか）

○教師の小中兼務について

・中学校において生徒の減少により教員の臨時免許を取得してもらうことで授業している現状があります。教員の小学校に勤める教員で中学校教員を持っている教員はたくさんいます。中学校の臨時免許解消につながります。専門外の教科を教えることによる負担は相当大きく、中学校の教員の先生方の労働環境の改善につながるのではないかと思います。また、生徒にとっても専門の学習を学ぶことができメリットは大きいかと思います。小学校においても特に高学年の授業を中学校の教員にもっていただくことで、児童が専門的な教育を受けることができるメリットは大きいように思います。また、小中でお互い授業を見合うことで授業力の向上がみこめます。しかし、これらのことは教員の持ち時間が今より少なくなることが前提だと思えます。そのような教員配置をよろしく願います。

○学校の建設場所Bについて

・校区が広がることによって、担任の移動時間が広がるのが懸念されます。家庭訪問をするとなると、遠いところだと、行くのに15分、戻るのに15分、あわせて30分かかります。勤務終了までに使える放課後の時間の1時間～1時間30分の大半を割かなくてはいけなくなります。きめ細やかな対応をするためには、学校・教員の働き方の努力だけではどうしようもない部分があり、担任の負担削減ができるよう持ち時間を減らせる働き方の制度設計を考えていく必要があるかと思います。

・各地区の地域の人から学校が離れてしまわないよう、各学校で行ってきた地域学習のノウハウと人脈をうまく新しい学校につなげられるようよろしくお願いします。

社会現象等勘案して、小中併設の統合等、計画されている内容はとても良いと思います。建築については、教室数を余裕のある数に、また合理的な教室配置等、子どもたちがしっかり学習できるようにしてあげてほしいと思います。

子どもの安全(防災・防犯)や安心を第一に考えていただきたい事、また学習環境が整っていることを望みます。支援を要する子どもが増えてきているのが現状であることもしっかりと考えていただきたいです。まずは現場を見ていただき、現場の意見を取り入れてください。

児童生徒数の減少、教職員の減少、児童生徒の安全面等を考慮すると適正化は必要だと感じる。ただ、現場の意見を十分反映できるよう、丁寧にすすめてほしい。

防災面から考えて、早急に安全な場所への移転、新校舎の建設を行なうべきだと思います。

町内の学校に勤務しているが、老朽化の進行が感じられるところが多く、早急な新校舎建設に賛成である。新校舎の建設候補地や、通学手段についても賛成である。

老朽化や防災面での課題がある学校があるため、新校舎建設はいいと思います。授業をする上での電子黒板やプロジェクター、カラー印刷など教具を充実したものにいただき、より良い授業研究ができるといいと思いました。車を止めれる十分な駐車場の確保もいただきたいです。

新校舎の建設候補地は町内中心付近の市木地区が良いのではないかと思います。

現在、町内の学校に勤務しております。20年近く熊野市で勤務し、初めて御浜町に赴任しました。子どもたちが抱える様々な問題に行政、福祉、学校が非常にうまく連携が取れていることが素晴らしいと感じています。一方で、財政状況の厳しさも様々な点で感じます。そこで、「新校舎での教育のあり方」「小中一貫校を推進するための環境整備について」の2点において、いくつかご意見させていただきます。まず、子どもたちが新校舎において使用する学校備品、教材備品については、もちろん現在各学校で使用しているものの中からまだ使用できるものを活用するかと思います。しかしながら、私が勤務する学校にも、かなり老朽化した備品が多数あります。どうか可能な限り精査していただき、新しい備品を入れていただきたいです。次に、ICT教育についてです。現在御浜町では、テレビにパソコン等の画面を投影する形です。どうか新校舎では、熊野市や紀宝町のように各教室にプロジェクター（できれば天井に固定）とスクリーンを設置していただきたいです。さらに、小中一貫校の学校運営については、これだけ大規模な学校は近隣地域にはないかと思うので、管理職、教職員に、県内の同規模の学校でのシステムを研修する機会を設けてほしいです。

人間関係構築、社会性の涵養、という面からも、学校を統合することのメリットは大きいと思う。

尾呂志学園は残しつつ、少子化が進むなか、町内小中学校を統合して、できる限り1学年2クラスを維持していくという方針に賛成いたします。また、新校舎に移転することで、この地域で発生が懸念される東南海地震に対する防災体制が図られ、児童生徒の安全安心が図られることは町として重要なことであると考えます。待望の新校舎建設なので、色々と研究いただいて、設計を進めていただければと思います。

給食センターの新設をお願いします。学校や保護者の意見を多く取り入れていただきたいです。防災倉庫など設置した場合、非常食を給食の緊急対応にも使えたらいいなと思います。

防災上、できるだけ津波の心配がない場所が良いです。かつ通学時間に差が出ないように配慮をしていただきたいです。子どもたちが快適に過ごせる環境とともに、教職員の働きやすい環境整備も整えてほしいです。それが子どもたちにかえていくと思っています。

町内で児童生徒数が減少しているため、今回の措置はいいと思いました。またいずれも小中一貫校であり、人数規模が違うということなので、選択する際に分かりやすいと思いました。

子どものために学校の近い所へ家を建てました。建った後にそのような話を聞いてショックでした。負担のないようにして頂きたいです。（送り迎えなど）

小中一貫教育が、系統的な教育の推進や子ども理解につながる。

新校舎の建設候補地は、他の候補地と比較して条件を満たしていると思われる。

新校舎の建設物だけでなく、教室内などのさまざまな最先端の教育設備が期待される。

小学校の高学年のこどもたちは、直接自分たちのことではないが、アンケートを通して、今後の御浜町の小中学校の適正配置計画を知ることができた。

適正配置基本計画に賛成します。小中一貫教育の推進についても、教科担任制の導入や小中学校の連携もうまくいくと考えます。

早急かつ、子どもたちや地域の、保護者の意見を多く取り、様々な意見を、出して、検討してもらいたいと思います。

子どもたち、御浜町で育つ自分に誇りを持って、安心して成長できるように、新しい校舎でたくさんの友だちと共に切磋琢磨しながら協働できる学校の適正配置基本計画に賛成します。

基本計画の具体策の中に「1学年2クラス規模の学校とすることが必要」とあるが、今から6年後の新小学校児童数が予測しにくい中、果たして1学年2クラスの児童生徒数を確保できる見通しがあるのだろうか？

現在、各校で老朽化の問題が深刻化している。新校舎設立については、児童生徒が安心・安全に登校することができる理由の一つとして、よいと思う。また、新校舎設立については、来たる南海トラフ地震など、そのほか自然災害に備えつつ、児童生徒がなるべく負担なく登下校ができることが優先すべき立地条件だと感じる。それに伴い考えると、個人的には新校舎建設候補地の三箇所のうち、Aの志原地区が妥当かなと感じる。

令和12年度より新校舎併用開始ということだが、それに伴い、校舎等の整備だけでなく、児童生徒がスムーズに安心して移行できるよう、はやめはやめの段階でとりくみが必要になってくるのかなと感じる。（例えば子どもたち同士が交流する場面をつくり、関係性を築いていくなど）

バスの運用など、今までと大きく変わる部分がたくさん出てくると思う。しかし、別問題として教職員の業務の多さが今日課題となっている以上、教職員の負担が大きくなってしまような業務や学校運営にならないようすすめていく必要性を強く感じる。

防災の視点、老朽化した施設で現在学んでいる児童生徒のために1日でも早い校舎建築を望みます。施設、設備に関して学校現場の職員の声を反映させる仕組みづくりも期待します。

建設場所は高台で防災面において安全であることを望みます。また遠距離通学となるので、スクールバスの無料や行事や授業時間に合わせた臨機応変な運行がなされるようにお願いします。

学校の老朽化問題もあり早急な新校舎の建設を進めて頂きたいと思います。

子ども達が安全で過ごせるように、周りの危険にも気づけるように、対人関係にも気をくばり、大人が気づいて対応する。新校舎では安心と安全な環境で過ごせるようにと思います。

児童生徒の人間関係の構築や、学校環境の状況、防災面など、多角的に見ても、統合し規模を拡大して、新たな場所に設置する必要性を感じます。

校舎の老朽化、出生人口の減少もあり、御浜町の適正化は必要であると考えます。町民の避難場所としての役割も勘案し、施設の設備を整える必要があると思います。

津波被害に遭わない高台で、学校プラス避難場所としても使用出来る建物になると良い。

御浜町立小・中学校適正配置基本計画（素案）について、適当な計画案と考えます。

現状の課題解決はもちろん、町の魅力を向上させ、新たな人の流れを創出し、暮らし続けられる御浜町となるような基本計画になるよう、期待すると同時に、計画策定後は、計画に基づき住民と行政が一つになって将来を担う子どもたちの学びの環境の充実を実現すべきと思います。

非常によく練られた計画だと感じます。何より、真摯に取り組みを進められている教育委員会の対応には、全幅の信頼を寄せられるだけの熱意が感じられ、きっといい学校が建設されることと、そこで元気に学ぶ児童生徒の姿が今から心に思い浮かびます。ワクワクするような2つの規模のそれぞれの特色・個性を備えた教育の実現に邁進してください。大いに期待しています。

Aが広くて通いやすい！

学校適正化に合わせて、オーガニック給食の導入も検討できないでしょうか？子供達の健康にも、多角的に町の活性化にも繋がると思います。

家から近くなりますし小学生と中学生の兄弟がいる子は一緒に登校できるのでいいと思います

子どもたちの教育環境の向上だけでなく、町の未来につながる象徴的なプロジェクトとして計画が可視化できるといいのではないかと思います。

高速道路をはじめとした道路網の整備や学校周辺の開発などを加味した、町づくりの想像図のようなものがあれば、より期待感のある事業として多くの町民のみなさんから支持を得られるのではないのでしょうか。

この計画の実現により、御浜町が旧来の地域（集落）ごとのまちづくりから『ひとつの町（ワンタウン）』としての新しい新しい枠組みのまちづくりに移行できるのではないかと期待しています。

①令和12年度から新校舎の供用が開始されるとのことで、自分の子どもが中学3年生になる年度になります。校区が自由化され、新校舎に通学するか規模の小さな尾呂志学園に通学するかは自分の子どもに選択してもらおう考えです。尾呂志学園への通学を希望する子どもが想定以上の場合、規模の小さな学校しか通えない子ども達への配慮として尾呂志学園の定員・校区外の子どもが通学できる条件を設定する必要があるのでしょうか。また、魅力ある学校づくりとして、尾呂志学園に通う子ども達が新校舎にしかない部活動（団体競技等）があるならば、新校舎の部活動にも参加できるようになればいいなと思います。

②スクールバス運行に係る費用は原則として保護者負担なしとしていますが、家庭の事情で遅刻・早退等が必要な場合に、最低限の費用を例外的に徴収する必要があるのでしょうか。柔軟なバス運行を可能にするために、将来的には費用の徴収も視野に入れる必要もあるのかなと思います。

ずっとスクールバスのある小規模校に勤務していましたが、実際のスクールバスの運行とはスムーズにいかないことも多々ありました。生徒の常習的な遅刻、乗らない時の連絡不行き届き、運転手さん、保護者、管理職の連絡の煩雑さなど、小規模でも色々あるのに、中規模でやるのは大変でしょう。最初のルール作りは丁寧に行う必要があると思います。

また、小中の教員が相互に授業を担当するとありますが、以前、中学校教員は小で教えられるが、小学校教員は中で教えられないと聞いたことがあります。そこは、どうなのでしょう？

A志原の候補地は、県道が整備されており、周囲に住宅が多く、人の目につきやすい点で非常に良いと感じました。一方で、B市木とC阿田和の候補地については、海拔30m以上と記載されていますが、周辺の道路がハザードマップ上で浸水が想定されており、特にB市木については、浸水時に孤立する可能性が懸念されます。また、B市木地区は周囲の住宅が少なく、人目につきにくい印象があり、その点も心配です。

いずれの候補地にもメリット・デメリットがあるため、判断が難しいところではありますが、総合的に考慮すると、個人的にはA志原が適しているのではないかと考えます。なお、通学距離については、遠方の地区にはスクールバスが運行されると伺っており、その点は問題ないように思います。

5年後に実現予定とのことで、それまでに震災等が起こることも想定されるので、早め早めに行っていただくと安心です。どうぞ御浜町の子どもたちの安全のためによりしくお願いいたします。それまでに、津波の心配や避難の必要がある学校や園にはヘルメットやライフジャケットを配布する等も検討していただくと嬉しいです。（保護者負担も有りでかまわないと思います。）

○スクールバスの運行について

- ・インフルエンザ等の感染症が流行した際にも、運行はされるのか。また、可能な範囲での感染対策等をする予定なのか。（例:バスの本数を増やすなどして、一度に乗車する人数を分散させる）
- ・部活動などで朝練や放課後の活動等で登下校時間が人によりバラバラとなることが想定されるが、その対応方法はどうか。
- ・部活動等で土日祝に登校する必要がある場合、スクールバスはあるのか。無い場合は保護者や公共交通機関による送迎となると思われるが、その場合の費用負担についてはどうか。

○校区の自由化について

- ・住所地在尾呂志学園校区の場合、希望すれば小学校入学時から大規模校区へ行くことは可能なのか。また、その場合の通学手段について、スクールバスでの通学になるのか。
- ・徒歩通学となった場合の人通りが少ない場所や空き家が多い場所を通る時の不審者対策。（見守りなど）
- ・津波が発生しそうな大きな地震の時は保護者への引き渡しではなく学校が避難場所となる。もしくは率先して、さらに高台への避難移動を行うようにしてほしい。（車やスクールバスの場合、沿岸沿いの道を通る可能性があるため津波に巻き込まれやすい）